

東京大気汚染公害裁判・論点解説集の正誤表及び補足

(正誤表)

頁・行	誤	正
3頁・表4行目	青山貞一（環境科学研究所）	青山貞一（環境総合研究所）
7頁・下3行目	中公審の基本政策であった	ディーゼル排ガス対策の基本的選択肢の一つであった
8頁・2行目	中小型トラック	小型エンジン
8頁・下8行目	②1994年報告書によると	②1994年の2つの社内報によると

(補足)

現在までトヨタ、日産はガソリン普通トラックを大量に製造してきたが、国内ではこれを販売しないできたとの点（7頁2行目以下）に関し、実際のデータを明らかにしてほしいとの要望が出されています。その点下表を参考にしてください。

普通貨物車のG、D別生産台数と国内販売の推移

			1970年	1980年	1990年
トヨタ	生産台数 (A)	G	35,409 (83%)	217,741 (74%)	299,031 (72%)
		D	18,290 (17%)	78,126 (26%)	114,937 (28%)
		計	53,699	295,867	413,968
	国内販売(B)		4,317	9,811	0
	A-B		49,382	286,056	413,968
日産	生産台数 (A)	G	12,237 (81%)	72,330 (90%)	88,876 (71%)
		D	2,827 (19%)	8,391 (10%)	35,068 (29%)
		計	15,064	80,721	123,944
	国内販売(B)		3,029	22	0
	A-B		12,035	80,699	123,944

Gはガソリン車、Dはディーゼル車。単位はいずれも台。

「自動車統計年報」より作成。原告最終準備書面47頁以下参照